

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本 幸夫	電話番号	0852-22-5166
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	森林林業体験活動推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	森林とふれあうことを通じて森林に対する理解を促進する	
事業概要	県民が森林とふれあうことを通じて森林に対する理解を促進するため、ふるさとの森（ふるさと森林公園・県民の森）において森林とふれあう場を提供する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	ふるさとの森利用者数	目標値	12,100.0	12,500.0	12,900.0	13,300.0	人
	式・定義	ふるさと森林公園(学習展示館)利用者数の過去5年間平均値	取組目標値					
			実績値	11,786.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	40,269	42,358
うち一般財源(千円)	39,718	37,669

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤今年度新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

ふるさと森林公園：開園から22年が経過し、施設の老朽化に伴う修繕が増加している。松江市と共用する給排水設備については、平成26年4月1日に管理・修繕費の費用案分協定を結んでいる。
 NPO法人もりふれ俱樂部に公園の管理運営を委託している。
 県民の森：H22年度に、もりのすとキャンプ場を飯南町に譲渡した。
 譲渡施設周辺の維持管理業務は、飯南町の指定管理業者へ委託している。H27年度に指定管理業者が変わった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

ふるさと森林公園の給排水設備の維持管理について、松江市との協定に基づく費用案分により設備投資が抑えられた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 近年ふるさとの森利用者数は伸び悩んでいる。
 - 給排水設備以外の修繕も増加し、来園者が安全・快適に施設を利用しにくくなっている。
 - クヌギ林が利用時期を迎えたまま放置されている。
 - 植栽管理委託業務の入札で不落が生じた。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 施設の更新が少なく利用者の魅力度が低下している。
 - 施設全体の老朽化、及び定期的なメンテナンスの不足
 - 新たなイベント等の不足。
 - クヌギ林の伐採計画が策定されていない。
 - 労務単価・資材費等の高騰に伴う入札額の上昇。
- ③原因を解消するための「課題」
- 幅広い県民が繰り返し利用してもらえるよう、新しい施設整備などにより魅力のある公園づくりを行う必要がある。
 - 施設の老朽箇所を把握し、適切な維持管理を行う必要がある。
 - 新たなイベント等の企画・実施により利用者を増加させる必要がある。
 - クヌギ林の現況を把握し、伐採管理計画を策定する必要がある。
 - 業務内容を精査し、設計金額を見直す必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・既存施設は適切に維持し長寿命化を図ることで更新コストの抑制を図りつつ、新たな施設の導入を適宜見込むことにより、安全に利用できる魅力ある公園づくりを行う。
 ・森のイベントを企画する団体等との連携・協力体制を強化し、新たなイベント等企画を促進する。
 ・クヌギ林の現況を調査し、有効な伐採管理計画を策定・実行することで、森林の循環を図る。
 ・植栽業務の洗い出しを行い、より経済的かつ無理のない単価による設計金額を設定する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）